

香川高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	工業英語
科目基礎情報				
科目番号	7007	科目区分	工学基礎 / 選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電子情報通信工学専攻(2023年度以前入学者)	対象学年	専1	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	教科書: Terry Phillips, 人見 憲司, 湯舟 英一著 「Integrated Technical English」 成美堂			
担当教員	塩沢 隆広, ジョンストン ロバート			

### 到達目標

様々な工学分野の職業現場で必要とされる専門(技術)用語・熟語・文型・文法、並びに技術英文構成に関して学習し、英文の読解・作文の技能・英会話を修得する。

### ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
技術英単語、熟語表現、文法ならびに技術英文構成	各Unitのテーマに関して、技術英単語、熟語表現、文法ならびに技術英文構成を理解、修得する。 関連する問題に80%以上正答できる。	各Unitのテーマに関して、技術英単語、熟語表現、文法ならびに技術英文構成をある程度理解、修得する。 関連する問題に70%以上正答できる。	各Unitのテーマに関して、技術英単語、熟語表現、文法ならびに技術英文構成を理解、修得されていない。 関連する問題に60%以上正答することができない。
プレゼンテーション、英会話	英文の読解、および簡単な英語表現を用いてのプレゼンテーション 英会話ができる。 講義中の発言、プレゼンテーションの評価が80%以上である。	英文の読解、および簡単な英語表現を用いてのプレゼンテーション 英会話がある程度できる。 講義中の発言、プレゼンテーションの評価が70%以上である。	英文の読解、および簡単な英語表現を用いてのプレゼンテーション 英会話ができない。 講義中の発言、プレゼンテーションの評価が60%未満である。

### 学科の到達目標項目との関係

#### 教育方法等

概要	様々な工学分野の職業現場で必要とされる専門(技術)用語・熟語・文型・文法、並びに技術英文構成に関して学修し、英文の読解・作文の技能・英会話を修得する。
授業の進め方・方法	外国人教員と日本人教員が講義・演習を行つ。毎時間前半は、英語で書かれた技術文書例や図版例をテーマとして取り上げ、工学分野で使われる英語表現について学習する。外国人教員による質問・解答等、英会話の充実を図る。また、演習に取り組む(CD聴き取り含む)。後半は、グループに分かれ、英会話を通して、レゴブロックを組み立てる「ものづくり英会話」を行い、簡単な表現を用いてプレゼンテーションの訓練を行う。
注意点	塩沢のオフィスアワー: 毎水曜日放課後~17:00

#### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週 Numbers (2)	各テーマに関して、技術英単語、熟語表現、文法ならびに技術英文構成を学習する。 英文の読解、および簡単な英語表現を用いて英会話を行えるようする。 B1:1.2, B2:1.2
		2週 Arithmetic (2)	"
		3週 Points and lines (2)	"
		4週 Surfaces and angles (2)	"
		5週 Spaces and volumes (2)	"
		6週 Measuring (2)	"
		7週 Algebra and formulas (2)	"
		8週 Elements and compounds (2) Presentation	"
	2ndQ	9週 States of matter (2)	"
		10週 Properties of matter (2)	"
		11週 Symbols and keys (2)	"
		12週 Bits and bytes (2)	"
		13週 LANs and WANs (2)	"
		14週 Electricity and magnetism (2) Presentation	"
		15週 試験問題の解答(2)	"
		16週	

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

### 評価割合

	定期試験	発表	提出物(問題)	提出物(日記)	英会話(発言)	練習問題(TOEIC)	合計
総合評価割合	45	13	12	10	10	10	100
総合評価	45	13	12	10	10	10	100